

第 29 回 YGN 若手勉強会

NEA から見るカーボンニュートラルに向けた原子力動向

主催： 日本原子力学会 若手連絡会

来る 4 月 12 日（金）、日本原子力学会 若手連絡会（YGN）は、「NEA から見るカーボンニュートラルに向けた世界の原子力動向」と題する勉強会を現地とオンラインのハイブリット形式で開催致します。

カーボンニュートラル社会の実現に向け、原子力発電の更なる活用が期待されています。2023 年 11 月-12 月に開催された COP28 では、原子力発電の設備容量を 2050 年までに 3 倍にする野心的な目標が立てられました。この野心的な目標を達成するためには、原子力発電の導入を加速するための技術的・経済的な革新が必要となります。

本勉強会では、NEA（Nuclear Energy Agency）の原子力技術開発・経済課から舟橋卓也様をお招きし、世界の原子力発電の開発動向についてご講演いただきます。NEA では原子力発電の導入を加速するため、運転期間延長、大型炉の新設、小型炉の開発、非電力分野への応用などのテーマについて検討されています。ご講演の中ではこれらのテーマに対して、各国の動向について定量的に分析した結果を抜粋してご紹介いただきます。

化石燃料価格の高騰、ウクライナ危機といった世界情勢を受けて、日本でも原子力発電への期待が高まっています。将来の日本の原子力発電のあるべき姿を考える材料とするため、本勉強会に参加して、カーボンニュートラルに向けた各国の動向を学んでみませんか。

－ 記 －

【日時】

2024 年 4 月 12 日（金） 15:30 ～ 17:00（15:15 よりアクセス可能）

【場所】

現地＋オンライン（ZOOM： お申込み後にアクセス情報をお送りいたします。）

会場：

（株）三菱総合研究所 本社 会議室（〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3）

地図：<https://www.mri.co.jp/company/access/index.html>

※ご登録いただいた方に、4 月 10 日頃に詳細な集合場所等を案内いたします。

【講師】

舟橋 卓也 氏（OECD/NEA）

講師プロフィール：2010 年経済産業省入省。成長戦略の策定、福島第一原発の廃炉、中小企業の事業継続力強化、電力の安定供給に関する業務に従

事し、2021年より現職。早稲田大学大学院基幹理工学研究科修士課程修了（情報工学）、カーネギーメロン大学ハイツ大学院情報システム管理修士課程ビジネスインテリジェンス&データアナリティクス専攻修了。

【参加費】

勉強会：無料

懇親会：3000~4000円程度

【対象】

原則として、39歳以下の若手社会人・学生が対象です。

- ・文系理系/専門分野問わず、お気軽にご参加ください。
- ・原子力学会の会員である必要はございません。

【定員】

100名

- ・先着順です。
- ・お申し込み多数の場合、原子力学会会員を優先させていただきます。

【プログラム】

15:30 ~ 15:45 開会・趣旨説明（日立製作所 村上）

15:45 ~ 16:45 講演（舟橋 卓也 氏）

「NEA から見るカーボンニュートラルに向けた原子力動向」

16:45 ~ 16:55 質疑、議論

16:55 ~ 17:00 閉会

【その他】

開催後、有志による懇親会を実施します！懇親会参加希望者は応募時の Forms から参加希望のほど入力をお願いします。

【申込方法・問合せ先】

本勉強会への参加を希望される方は、4月10日（水）17時までに以下サイトよりお申込ください。

お申込用フォームサイト：

<https://forms.office.com/r/qFgzHP9Ltk>

*アクセス不可の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

日本原子力学会 若手連絡会 村上洋平（株式会社日立製作所）

メール：yohei.murakami.pq@hitachi.com

【備考】

◆ YGN 若手勉強会では「チャタム・ハウス・ルール」を適用し、参加者相互の信頼関係に基づく率直な議論を行います。本趣旨にご賛同の上、ご参加ください。

チャタム・ハウス・ルール：

「会議で得た情報を参加者は自由に使用してもよいが、発言者及びその他の参加者の身元・所属団体は明かしてはならない」というルール。国際会議等の場で率直な議論を促すために多く用いられている。

◆本勉強会へご参加いただいた皆様に、YGN 活動（勉強会や見学会のご案内など）のメールマガジンを配信させていただきます。

【ご紹介】

<若手連絡会とは>

日本原子力学会 若手連絡会は、原子力に携わる若手世代間の連携を強めることで、若手が本来持つ活力を引き出し、その専門性や能力を高める活動を行っています。この活動を通し、原子力全体の活性化を図り、原子力技術の発展、原子力に関する諸問題の解決、そのために必要となる新たな若手の育成に貢献することを目的としています。原子力の専門性を活かし、国・機関を超えた若手の連携によって社会へ貢献すべく、ネットワークの拡充強化を図っていきます。

ホームページ：<http://www.aesj-ygn.org/>

<YGN 若手勉強会とは>

日常業務に捉われない自己研鑽、分野や所属を超えた繋がりのお機会創出のため、2016年10月より継続的に開催しております。

第1回	「もんじゅを見つめ直す」	2016年	10月
第2回	「次世代炉開発に向けて考慮すべきことは何か？」	2017年	2月
第3回	「原子力の将来とイノベーション」	2017年	4月
第4回	「次世代小型モジュラー炉:シンプルで安全、そして経済的な選択肢」	2017年	10月
第5回	「安全神話とは何か。私たちは本当に安全神話に囚われていたのか。」	2017年	11月
第6回	「原子力安全と自治体行政：福井県の経験から」	2018年	2月
第7回	「原子力プラント建設の技術継承」	2018年	5月
第8回	「著者と語る『日本の原子力外交－資源小国70年の苦闘』」	2018年	7月
第9回	「国際協力・海外進出の現状と今後」	2018年	12月
第10回	「放射線問題と国連 ～2つの『国連』報告を読み解く～」	2019年	1月
第11回	「原子力プラント建設の技術継承②」	2019年	5月
第12回	「原子力防災に携わる。ー現場から研究室、そして現場へー」	2019年	9月
第13回	「脱炭素化、イノベーション、原子力の役割」	2019年	11月

第 14 回	「宇宙探査における原子力利用」	2020 年	9 月
第 15 回	「高速炉サイクル若手座談会～高速炉サイクルは何処へ～」	2020 年	12 月
第 16 回	「気候変動問題入門：なぜ『カーボンニュートラル』を目指すのか？」	2021 年	1 月
第 17 回	「核融合の早期実現という破壊的イノベーション」	2021 年	6 月
第 18 回	「2030 年温室効果ガス 46%削減目標の達成は可能か？」	2021 年	6 月
第 19 回	「メディアを知る」	2021 年	6 月
第 20 回	「OECD/NEA で働く若手日本人職員に聞く。」	2021 年	8 月
第 21 回	「電力系統の概要とカーボンニュートラルに向けた課題」	2021 年	9 月
第 22 回	「理科教育のプロに聞く。義務教育で放射線は教えられるのか？」	2021 年	9 月
第 23 回	「医療・生命科学に貢献する原子炉の役割。—新たな試験研究炉がもたらす産業イノベーションの可能性—」	2021 年	9 月
第 24 回	「米国から見た日本の原子力」	2021 年	12 月
第 25 回	「健全な「核燃料サイクル」に必要なものとは何だろう」	2022 年	2 月
第 26 回	「自身で将来の原子力産業を予測する！！～新型「核燃料サイクルシミュレータ」で定量的に議論～」	2022 年	3 月
第 27 回	「海に浮かぶ 原子力発電所～イノベティブな検討による 1 F 事故の反省を踏まえた原子力システム～」	2022 年	6 月
第 28 回	原子炉の「廃炉措置」-課題と現状×廃炉ビジネス-	2023 年	3 月

以上